

## 挑戦4 北の玄関口としての交流ネットワークの形成

### 将来の北薩地域は

本県の北の玄関口として、南九州西回り自動車道（高規格幹線道路<sup>※50</sup>）、北薩横断道路（地域高規格道路<sup>※51</sup>）等の整備や、川内港の機能強化、新幹線など、陸・海の交流ネットワークが形成され、生活の利便性が向上するとともに、物流の効率化、観光客などの交流人口が増え、地域の活性化につながっています。

### 1 高速交通体系の形成

#### 将来のイメージ

- 九州新幹線や南九州西回り自動車道・北薩横断道路の幹線交通網が整備されることにより本県の北の玄関口に位置する北薩地域の広域・高速ネットワーク機能が充実されるとともに、鹿児島空港や県中央部と連携強化する空港アクセス道路の整備により物流の効率化や利便性が向上し、当地域の観光や農林水産業の振興が図られ地域全体の広域的ネットワークが形成されます。
- 長島から熊本県天草、長崎県島原をつなぐ九州西岸軸の中核となる島原・天草・長島架橋構想が促進されています。

#### 現状と課題

- 南九州西回り自動車道の整備を促進する必要があります。
- 北薩横断道路の薩摩道路、泊野道路の早期供用に向け、整備を推進します。また、残る計画路線区間については、調査区間へ格上げを図るため、調査を実施する必要があります。
- 平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業予定です。

#### 取組の方向性

- 南九州西回り自動車道の整備を促進するとともに、北薩横断道路の重点整備による早期完成に努めます。また、インターチェンジへアクセスする道路の整備を図ります。



薩摩道路（永野IC～さつま観音滝IC区間）



九州新幹線



50 高規格幹線道路：全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路

51 地域高規格道路：高規格幹線道路を補完し、地域相互の交流促進や空港・港湾などの広域交通拠点への連絡等を強化する一般の道路よりも走行性の高い道路

## 2 地方交通ネットワークの形成

### 将来のイメージ

- 高規格幹線道路の整備と連携した地域内の幹線道路網が整備・充実されることにより、広域交通ネットワークが形成されます。
- 肥薩おれんじ鉄道は、再生プランに基づく取組等を行い、経営改善や利便性を高め、地域住民にとって身近で重要な公共交通機関として運行しています。
- 地方バスは、利用者のニーズにあった運行体制により、地域住民にとって身近で重要な公共交通機関として、また、駅からの二次アクセス手段として運行しています。
- 蘭牟田瀬戸架橋や甑島を縦貫する道路が整備され、甑島3島（上甑島・中甑島・下甑島）間の移動がいつでもできるようになります。

### 現状と課題

- 生活関連道路の未改良区間の整備が必要です。

- 交通途絶予想箇所の解消を図る必要があります。
- 肥薩おれんじ鉄道の経営状況を改善することを求められています。
- 地方バスの一部で利用が少ない状況にあります。
- 蘭牟田瀬戸架橋の整備を推進する必要があります。
- 薩摩川内市では、甑島との新たな航路開設ができないか検討がなされています。
- 獅子島架橋の要望があります。また、一方、長島町では獅子島航路の活性化や利便性向上等を図るため、国の支援事業を活用して検討が進められています。

### 取組の方向性

- 未改良区間の解消を図り、地域に密着している生活関連道路の整備を進めます。
- 交通途絶予想箇所の解消に努め、災害に強い道路づくりを推進します。
- 肥薩おれんじ鉄道の利便性の向上や利用促進を推進します。
- 地方バスの存続のために助成を図るとともに、地域のニーズに対応できるコミュニティバスやデマ<sup>※</sup>ン<sup>5</sup>ド<sup>2</sup>型交通の導入検討を促進します。
- 蘭牟田瀬戸架橋の整備を推進します。
- 甑島航路については、国の支援事業を活用するなど、地元や航路事業者と一体となって、運航コストの削減や島外客を含めた利用促進などについて検討を進めます。



着工前：鶴田停車場線（鶴田工区）



完成：鶴田停車場線（鶴田工区）

52 デマ<sup>※</sup>ン<sup>5</sup>ド<sup>2</sup>型交通：主にジャンボタクシーなどの車両を使用し、事前に予約して玄関から玄関への移動を定額運賃制の乗合で行うもの。（運行方法等は地域によって若干異なる場合あり）

## 3 川内港等の整備推進

### 将来のイメージ

- 重要港湾である川内港は、中国や東南アジアに近い優位性を生かし、国際物流拠点としての機能充実が図られるとともに、九州新幹線や南九州西

回り自動車道のインターチェンジ等の活用により人や物の流れの活性化が図られて、利便性が向上します。

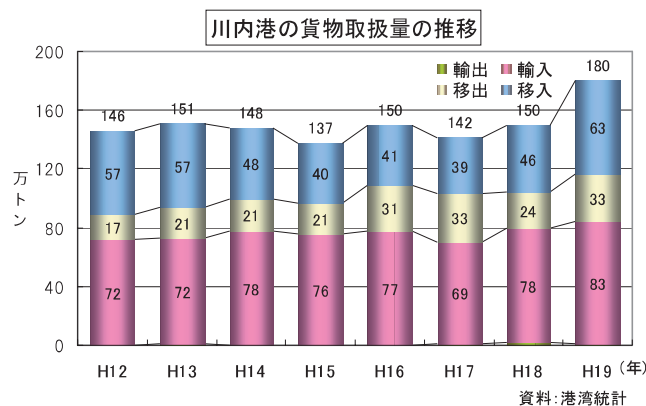
- 地方港湾においては、浮き桟橋等を整備することにより、人の乗降や港の利用者の利便性が向上します。

### 現状と課題

- 川内港は、港湾の整備が図られる一方で関税法上の開港指定、無線検疫港の指定、植物輸入港の指定など国際貿易港としての機能も整ってきており、南九州西海岸地域における拠点港として重要な役割を果たしています。
- 川内港は、中国や東南アジアに近く、新鑿真号の寄港や国際定期コンテナ航路の開設など着実に利活用や港湾整備が進められていますが、更に官民一体となった貨物集荷や安定的航路継続への取組が重要です。
- 川内港は、九州新幹線全線開業、南九州西回り自動車道の整備延伸や川内港から人や物の流れの活性化など、将来に向けての整備の方向性を検討していくことが求められています。
- 川内港へのアクセス道路は、周辺住民の生活関連道路でもあることから未改良部分についての整備が求められています。
- 地方港湾は、干満差が大きいいため、人の乗降に配慮した施設の整備が求められています。

### 取組の方向性

- 中国や韓国、東南アジアに近い優位性を生かした国際貿易港としての機能充実を図るとともに、利便性の向上のための施設の整備を推進します。
- 川内港へのアクセス道路の整備を推進します。
- 地方港湾においては、浮き桟橋等の利便性の向上を図る施設の整備を推進します。





## 第4章 挑戦すべき課題と取組の方向性

### 挑戦4 北の玄関口としての交流ネットワークの形成

#### 港湾の状況【北薩】

	所在市町	区分	箇所数	名称						
港湾 (18)	薩摩川内市	重要港湾	1	川内港						
		地方港湾	1	西方港						
		地方港湾(甌島)	4	里	長浜	江石	桑之浦			
	阿久根市	地方港湾	5	黒之浜	高之口	大漣	小漣	八郷		
	出水市	地方港湾	1	米之津						
	長島町	地方港湾	6	瀬戸	宮之浦	片側	指江	長島	獅子島	

資料:北薩地域振興局建設部(平成21年3月現在)



川内港全景



川内港の荷役状況



新鑿真号

## 4 県際交流の推進

### 将来のイメージ

- 本県の北の玄関にあたる北薩地域は、九州新幹線や南九州西回り自動車道等の整備が推進されることにより高速交通網の整備が進められ、他地域との人や物の流れが活発になります。
- 隣県に接している地域の特性を生かすため、県域を越えた広域的連携を図り持続的に各種イベント等の取組を行うことにより地域全体の活性化が図られています。

- 島原・天草・長島架橋構想の促進に向け、長崎県や熊本県と連携した取組を行っています。

#### 現状と課題

- アジアへの近接性や豊かな自然環境、海洋資源を活かし、九州西海岸の各拠点を有機的に結ぶ連携軸の形成が期待されます。
- 県域を越えた地域間交流がなされています。
- 島原・天草・長島架橋構想の実現に向けての取組を求められています。

#### 取組の方向性

- 広域観光ルート・広域物流拠点の形成や新産業の創出を促進します。
- 行政・民間等が連携し、県域を越えた各種イベント等を実施し、積極的交流を図ります。
- 島原・天草・長島架橋構想の促進に向けて、関係機関と連携し取組を進めます。

### 5 行政と民間との広域的連携の推進

#### 将来のイメージ

- 当地域の市町や民間団体が広域的に連携し、地域振興や様々な課題解決のための取組が行われています。
- 官民一体となった取組や異業種間交流など社会情勢の変化や進展に対応するため連携した取組が行われています。

#### 現状と課題

- 当地域の市町や民間団体が広域的に連携した「北薩摩振興推進協議会<sup>※53</sup>」において、県際交流や地域活性化に向けた取組が進められており、同協議会の発展的な活動が求められています。

#### 取組の方向性

- 北薩摩振興推進協議会の積極的な活動を推進します。
  - ・ ウォーク、料理対決等の隣県との交流推進など各種イベントの実施
  - ・ 観光マップ等各種マップの作成、配布
  - ・ 北薩地域内の観光資源や特産品等の各種資源の発掘、見直し
  - ・ グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム<sup>※54</sup>等の推進

第4章 挑戦すべき課題と取組の方向性  
挑戦4 北の玄関口としての交流ネットワークの形成



- 53 北薩摩振興推進協議会：北薩地域の活性化を図るため、行政や民間団体など44団体が一体となって地域情報を発信したり、地域資源を掘り起こすなどして多様な取組を企画・立案・実施することを目的に平成20年6月設立された。また、同協議会に「観光・交通部会」、「産業部会」を組織し、観光ルートの開発や県境交流事業等、地域一体となった広域的な取組を行うこととしている。
- 54 ブルー・ツーリズム：島や沿岸部の漁村に滞在し、魅力的で充実した海辺での生活体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動の総称。